

さがみはら生物多様性 ネットワーク ニュース

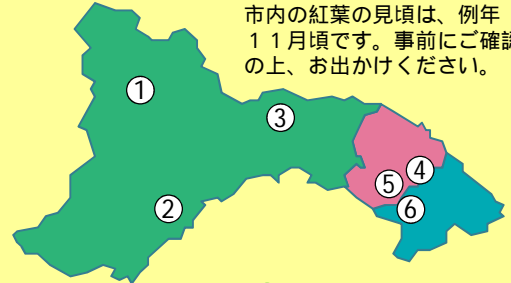
第4号
発行日
2017年10月

発行 さがみはら生物多様性ネットワーク

秋のお出かけに！ 相模原市内の生物多様性スポット

秋の晴れた日、紅葉を見に出かけませんか？
気軽に行ける公園から自然を満喫できる湖周辺の
スポットまで、オススメの場所を紹介します！！

市内の紅葉の見頃は、例年
11月頃です。事前にご確認
の上、お出かけください。



①相模湖嵐山



相模湖から嵐山を眺めるも
よし、嵐山に登って湖と
山々の紅葉を見るのもよし。

②鳥居原園地



真っ赤なドウダンツツジと
宮が瀬湖、周囲の山々の紅
葉の共演が美しい。

③相模原北公園



イチョウ並木や日本庭園の
モミジの紅葉が見事！秋バ
ラも楽しめます。

④淵野辺公園



紅葉の中、散策やジョギン
グはいかがでしょうか？

⑤道保川公園



池の水面に色とりどりの紅
葉が映えます。のんびり散
策にもってこい！

⑥県立相模原公園



噴水広場のメタセコイアの
巨木並木の紅葉が圧巻で
す！

写真提供： (一社)相模原市観光協会 / (公財)相模原まち・みどり公社

会長就任あいさつ

さがみはら生物多様性ネットワーク会長 坂本 堯則

このたび、新たにさがみはら生物多様性ネットワーク会長に就任いたしました坂本堯則です。本ネットワークはこれまで、会員の皆様のご協力によりシンポジウムや会員交流会の開催、会報紙の発行など生物多様性の保全に向けた普及・啓発のための事業を行ってきました。一方で、本年2月に設立1周年を迎えたばかりであるため、団体としては成長途中の段階にあり、引き続き会員の皆様のお力添えが必要です。

生物多様性に関する関心は日々高まっており、ネットワークの果たす役割の大きさを実感しております。今後も、それぞれの活動をさらに拡充させるとともに、さらに多くの方に会員となっただけのような会員の皆様とともに取り組んでいきたいと考えておりますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

国連も生物多様性を訴えています！
～「SDGs」って知っていますか？～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

私たち人間は地球がなければ存続できません。地球存続のための取り組みが2015年の国連サミットで全会一致で採択されました。それがSDGsと呼ばれる「17項目の持続可能な開発目標」のことです。

SDGs = Sustainable Development Goals
17の目標とは、気候変動、生物多様性、貧困、格差、教育、経済成長と雇用、男女差別、平和などです。



このうち15番目に「生物多様性」が位置づけられ、「生物多様性は人類の幸福に様々な形で貢献し、現在と未来の世代の福利につながる地球の生命維持装置の基盤」であり「生物多様性の損失と劣化はすべての人にマイナスの影響をもたらす」としています。

生物多様性は地球的規模の取り組みとなっていますが、大事なことは人任せではなく、一人一人が微力でも地道に取り組むことが私たちの自然と生活を守り、ひいては地球を救うことにつながるのです。

個人会員 出口忠夫

会員募集中！！

「さがみはら生物多様性ネットワーク」に入会して、生物多様性の保全と一緒に取り組みませんか。

ネットワークの趣旨に賛同する個人・団体・事業者で、活動に積極的に参加していただける人であれば、どなたでも入会できます。

年会費・・・1口 1,000円

個人会員・団体会員 / 1口以上
事業者会員 / 2口以上

さがみはら生物多様性ネットワーク事務局
(相模原市水みどり環境課内)

相模原市中央区中央2-11-15

電話：042-769-8242

Eメール：midori@city.sagamihara.kanagawa.jp

入会申込書のダウンロードはこちらから
相模原市生物多様性ポータルサイト



相模原市 生物多様性

検索

今年みなかたは南方熊楠くまぐすの 生誕150年です！

南方熊楠(1867-1941)は、粘菌の研究や『十二支考』などの著作で知られる世界的学者であり、また神社合祀反対など自然保護運動の先駆者としても知られています。南方は、日本に初めて「エコロジー」という言葉を紹介した人と言われていますが、彼のエコロジー思想は、長い年月をかけて形成された「神林」(神社の森)の生物多様性と深く結びついていました。「御承知ごとく、殖産用に栽培せる森林と異り、千百年来斧斤入れざりし神林は、諸草木相互の関係はなはだ密接錯雑致し、近ごろはエコロジーと申し、この相互の関係を研究する特種専門の学問さえ出で来たりおることに御座候」(川村竹治宛書簡)。

南方は、神林を日本人の自然・文化・モラルの基盤と考え、「神社合祀に関する意見」などを通じてその保護を訴えました。神林は、生物多様性の宝庫でした。「わが国の神林には、その地固有の天然林を千年数百年来残存せるもの多し。...珍草木を存すること多く、偉大の老樹や土地に特有の珍生物は必ず多く神林神池に存するなり。」この生物多様性のすばらしさを、南方は「わが国特有の天然風景はわが国の曼陀羅(まんだら)ならん」と、みごとな言葉で簡潔に表現しています。その生物多様性が、開発の中で失われていくことへの怒りを、彼は訴え続けました。「千百年を経てようやく長ぜし神林巨樹は、一度伐らば億万金を費やすもたちまち再生せず。」「殆(あやう)きものは金銭なり。神林の樹木も神社の地面も財産なり。」南方熊楠生誕150年。いまこそ南方の生物多様性の言葉をひもといってみませんか。

事業者会員

桜美林大学リベラルアーツ学群教授 片山博文

会員紹介コーナー

さがみはら緑の風 (団体会員)

自然観察指導員の相模原連絡会です。2006年4月、相模原市が合併により広大な地域を抱えたことを契機に、発足しました。

相模原の自然の紹介を兼ねて、様々な場所で自然観察会をしております。

自然や生きものをじっくり見ることによって、その姿から生きもの同士のつながりを発見し、一見人間には気づかない“命のつながり”が見えてきます。

問合せ先 水みどり環境課